

「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習（必修領域）

講座番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講人数
A1	【必修】教育政策の動向と現代教育の課題	必修領域講習の4つの事項①国の教育政策や世界の教育の動向、②教員としての子ども観、教育観等についての省察、③子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見、④子どもの生活の変化を踏まえた課題)について概観し、教師の役割について検討します。	吉岡真佐樹(公共政策学部教授) 服部敬子(公共政策学部教授)	6時間	平成30年8月6日	100人

「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習（選択必修領域）

講座番号	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講人数
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等	
B1	【選択必修】学習指導要領の改訂内容と安全教育の課題	学習指導要領の改訂の動向等学校における危機管理上の課題	学習指導要領改訂といった最新状況を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の内容とその背景について講義します。あわせて、東日本大震災以降いっそう重視されることとなった学校安全・防災教育について、子どもの目線に立った安全教育・防災学習のあり方と課題について講義します。	長谷川 豊(公共政策学部准教授)	6時間	平成30年8月7日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	100人
B2	【選択必修】子どもを支える地域社会との連携・協働に向けて	学校、家庭及び地域の連携及び協働	学校、家庭、地域の連携・協働を促進するために、それぞれの現状と歴史を踏まえた理解を深めます。現代社会における子ども・若者をとりまく教育環境と、その発達・成長を支える地域社会の取り組みなどを取り上げ、理論・歴史と現在の実践動向の両面から考えていきます。	田所 祐史(公共政策学部准教授)	6時間	平成30年8月7日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	100人

「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習（選択領域）

講座番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C1	【選択】英語四技能と異文化理解の指導法	本講習は、新学習指導要領の目標を見据えて「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を育成するための学習活動を取り上げます。前半では、「聞くこと」と「書くこと」を中心に、コミュニケーションを支えるものとしての文法指導を探究します。後半では、「読むこと(解釈すること)」を中心に、アメリカの独立宣言を資料として、英語と文化・社会を教授する方法を探究します。	細越 響子(文学部講師) 出口 菜摘(文学部准教授)	6時間	平成30年8月8日	教諭	中学校・高等学校(英語科)教諭向け	30人
C2	【選択】分子間相互作用の科学	タンパク質などの生体分子も、ある分子が特定の分子を認識して結合し、シグナル伝達をはじめとする様々な生物機能に重要な役割を果たします。本講習では、これら分子間相互作用を、分光法など様々な物理化学的手法で解析する事例を紹介し、最先端の生命科学研究の成果について概説します。	石田 昭人(生命環境科学研究科教授) 織田 昌幸(生命環境科学研究科教授)	6時間	平成30年8月9日	教諭	中・高等学校(理科)教諭向け	30人
C3	【選択】住まいの多面性を知る	日常生活においても住生活は重要な位置にありますが、住居領域を専門とする家庭科教員は少なく、生徒に教える上で捉え所が難しいと思う先生方も多いのではないのでしょうか。この講習では、まず多面的な話題を用いて、教員自身が住居領域を楽しく思うような、授業実践のヒントを提供します。	松原 斎樹(生命環境科学研究科教授) 檜谷 美恵子(生命環境科学研究科教授) 福井 亘(生命環境科学研究科准教授) 松田 法子(生命環境科学研究科講師) 牛田 好美(ノートルダム女子大学現代人間学部教授)	6時間	平成30年8月10日	教諭	中・高等学校(家庭)教諭向け	30人